科目名	神経筋疾患理学療法学	担当教員	久保田 健太 ※印は実務経験のある教員を示す。

開 講 専 攻	分 野	種 別	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
理学療法学専攻	専門科目	選択	3年次	前期	1単位	講義

ナンバリングコード	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
HR31ACDE	②

科 目 概 要	主に神経及び筋肉の変性に起因する疾患について、その病態生理を理解し、病態を考慮した理学療法評価及び基本的理学療法治療、リハビリテーションを理解することを目的とする。特に本科目では、パーキンソン病、脊髄小脳変性症、多発性硬化症、筋萎縮性側索硬化症、ギランバレー症候群などの進行性の神経筋疾患に対し学習し理解を深める。
学 習 目 標	① 各神経筋疾患の病態を理解できる。 ② 各神経筋疾患の理学療法評価・治療を理解する。

回	項 目	主 な 学 習 内 容	到 達 目 標	実務経験教員担当項 目
1	講義１	多発性硬化症	多発性硬化症の病態、多発性硬化症に対する理学療法評価や治療を理解する。	
2	講義２	筋萎縮性側索硬化症	筋萎縮性側索硬化症の病態、多発性硬化症に対する理学療法評価や治療を理解する。	
3	講義３	ギランバレー症候群	ギランバレー症候群の病態、多発性硬化症に対する理学療法評価や治療を理解する。	
4	講義４	パーキンソン病１	パーキンソン病の病態、多発性硬化症に対する理学療法評価や治療を理解する。	
5	講義５	パーキンソン病２	パーキンソン病の病態、多発性硬化症に対する理学療法評価や治療を理解する。	
6	講義６	パーキンソン病３	パーキンソン病の病態、多発性硬化症に対する理学療法評価や治療を理解する。	
7	講義７	脊髄小脳変性症１	脊髄小脳変性症の病態、多発性硬化症に対する理学療法評価や治療を理解する。	
8	講義８	脊髄小脳変性症２	脊髄小脳変性症の病態、多発性硬化症に対する理学療法評価や治療を理解する。	

評価方法	筆記試験(100%)
課題に対するフィードバック	講義中・講義終了後に質問を受け、回答する。
教科図書	なし
参考図書	尾上尚志、他・編『病気が見える vol.7 第２版』メディックメディア、2017 年
学習の準備	授業資料などを用い毎回しっかり復習（180 分）すること
オフィスアワー	月曜日 12 時から 13 時、その他在室時はいつでも可

担当教員欄に※印を附した教員の実務経験	